

大阪市の施策全般について 民間ネット調査(令和7年2月実施)の結果

【調査目的】

現在、大阪市では「めざす姿」の実現に向け、次の取組を重点的に推進しています。

《めざす姿》

一人ひとりが多様な幸せ(ウェルビーイング)を実感でき、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざしています。

- ・ すべての子どもの安全・安心が守られ、どのような家庭環境、経済状況であっても、子どもたちが分け隔てなく大切にされ、夢を追い求めることができるよう、日本一の子育て・教育サービスを実現する。
- ・ 万博を成功に導き、府市一体で万博後も見据えた成長戦略の取組を加速させて大阪の成長・発展を確たるものにするとともに、日本経済の成長に着実に結び付けていく。
- ・ 本市を取り巻く状況や社会経済情勢の変化に対応した、持続可能な行財政基盤を構築する。

① 子育て・教育環境の充実

0～2歳児の保育料無償化、待機児童対策、在宅等育児への支援、不妊治療費等助成、こども医療費助成、学力向上支援、学校教育におけるICT活用、教職員人材の確保・育成、習い事・塾代助成、児童虐待防止対策、ヤングケアラー支援、こどもの貧困対策、いじめ・不登校対策 など

② 暮らしを守る福祉等の向上

特別養護老人ホームの整備、認知症高齢者支援、障がい者施策の充実、生活困窮者等への支援、地域福祉推進体制の充実、市民の健康づくりの推進、ひきこもり支援、若者・女性の活躍推進、多文化共生の推進、繁華街における来街者の安全の確保 など

③ 経済成長に向けた戦略の実行

大阪・関西万博の開催、IRを含む国際観光拠点の形成、御堂筋の側道歩行者空間化、市立美術館のリニューアル、スポーツ振興、イノベーション創出、中小企業の総合的支援、国際金融都市の推進、MICE誘致の推進、SDGsの推進、脱炭素化の推進、「知の拠点」の形成(大阪公立大学、国際感染症研究センター) など

④ 都市インフラの充実

うめきた2期区域・新大阪駅周辺・大阪城東部地区・夢洲のまちづくり、淀川左岸線延伸部の整備、なにわ筋線の整備、交通環境の充実(可動式ホーム柵の整備促進ほか) など

⑤ 防災力の強化

災害救助物資の備蓄、小学校の体育館等への空調機整備、堤防等の耐震対策、高潮・大雨に対する浸水対策、密集住宅市街地整備、個別避難計画の作成 など

これらの主な具体的施策について、ご意見をお聞きし、今後の参考とすることを目的としています。

【調査期間】

令和7年2月19日(水曜日)～ 2月22日(土曜日)

【留意点】

※質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。

※数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入しています。

したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

※本アンケートの回答者は民間調査会社に登録するインターネットモニターであり、回答者の構成は無作為抽出+プールのように「市民全体の縮図」ではありません。そのため、調査結果は、「市民全体の状況」を示すものではなくあくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまります。

【回答者数と内訳】

●回答者数 600名

●回答者の性別

年代	人数	割合
男性	299	49.8%
女性	297	49.5%
その他	4	0.7%
合計	600	100.0%

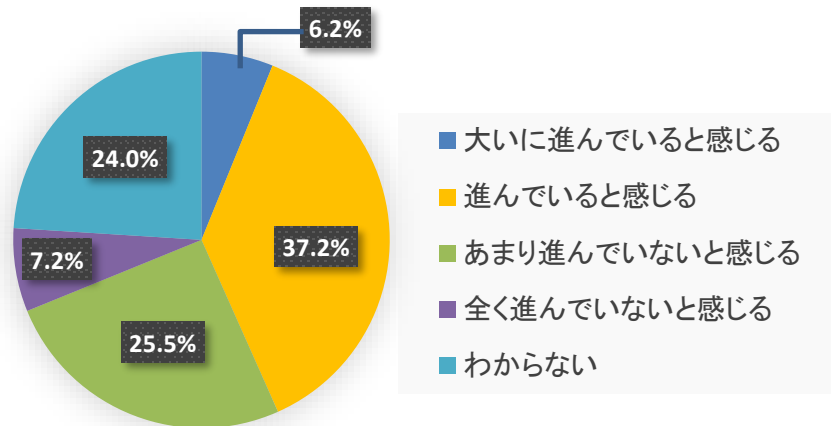
●回答者の年代

年代	人数	割合
18歳～29歳	100	16.7%
30歳～39歳	100	16.7%
40歳～49歳	100	16.7%
50歳～59歳	100	16.7%
60歳～69歳	100	16.7%
70歳以上	100	16.7%
合計	600	100.0%

【結果の概要】

問1 「子育て・教育環境の充実」が進んでいると感じられますか。

令和6年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
大いに進んでいると感じる	37	6.2%
進んでいると感じる	223	37.2%
あまり進んでいないと感じる	153	25.5%
全く進んでいないと感じる	43	7.2%
わからない	144	24.0%
合計	600	100.0%



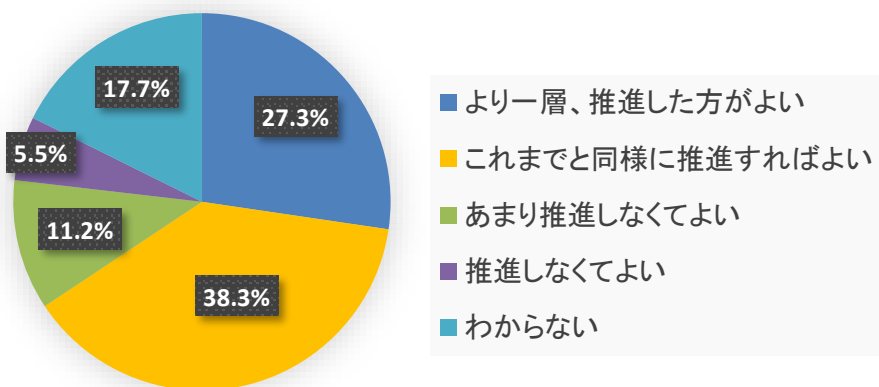
昨年度の回答結果	回答者全体 (500名)	
大いに進んでいると感じる	29	5.8%
進んでいると感じる	128	25.6%
あまり進んでいないと感じる	126	25.2%
全く進んでいないと感じる	42	8.4%
わからない	175	35.0%
合計	500	100.0%

【調査結果】

「大いに進んでいると感じる」、「進んでいると感じる」と答えた方が43.4%、「あまり進んでいないと感じる」、「全く進んでいないと感じる」と答えた方が32.7%となっている。4割以上の方が進んでいると答えており、昨年度と比較すると12.0ポイント増加している。

問2 今後、「子育て・教育環境の充実」について、どのようにすればよいと思いますか。

令和6年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	164	27.3%
これまでと同様に推進すればよい	230	38.3%
あまり推進しなくてよい	67	11.2%
推進しなくてよい	33	5.5%
わからない	106	17.7%
合計	600	100.0%



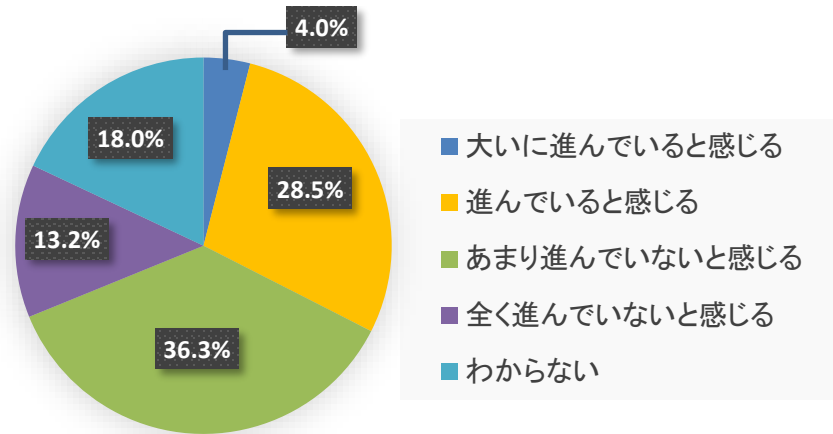
昨年度の回答結果	回答者全体 (500名)	
より一層、推進した方がよい	120	24.0%
これまでと同様に推進すればよい	173	34.6%
あまり推進しなくてよい	45	9.0%
推進しなくてよい	32	6.4%
わからない	130	26.0%
合計	500	100.0%

【調査結果】

「より一層、推進した方がよい」、「これまでと同様に推進すればよい」と答えた方が65.6%、「あまり推進しなくてよい」、「推進しなくてよい」と答えた方が16.7%となっている。6割以上の方が推進した方がよいと答えており、昨年度と比較すると7.0ポイント増加している。

問3 「経済成長に向けた戦略の実行」が進んでいると感じられますか。

令和6年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
大いに進んでいると感じる	24	4.0%
進んでいると感じる	171	28.5%
あまり進んでいないと感じる	218	36.3%
全く進んでいないと感じる	79	13.2%
わからない	108	18.0%
合計	600	100.0%

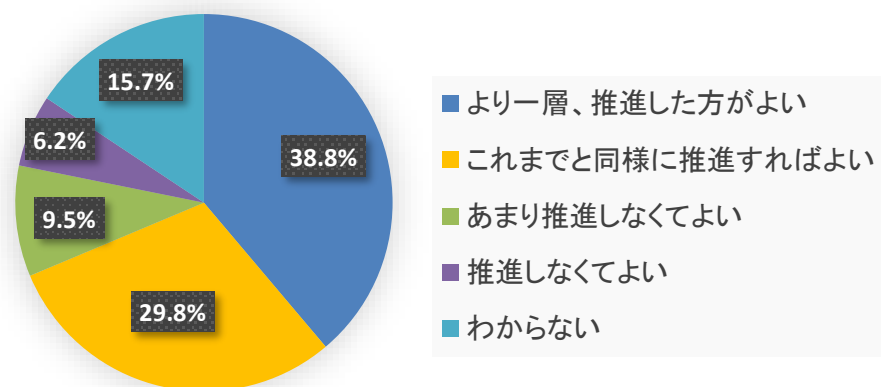


【調査結果】

「大いに進んでいると感じる」、「進んでいると感じる」と答えた方が32.5%、「あまり進んでいないと感じる」、「全く進んでいないと感じる」と答えた方が49.5%となっており、昨年度と比較すると「大いに進んでいると感じる」、「進んでいると感じる」と答えた方が2.7ポイント増加している。

問4 今後、「経済成長に向けた戦略の実行」について、どのようにすればよいと思いますか。

令和6年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	233	38.8%
これまでと同様に推進すればよい	179	29.8%
あまり推進しなくてよい	57	9.5%
推進しなくてよい	37	6.2%
わからない	94	15.7%
合計	600	100.0%



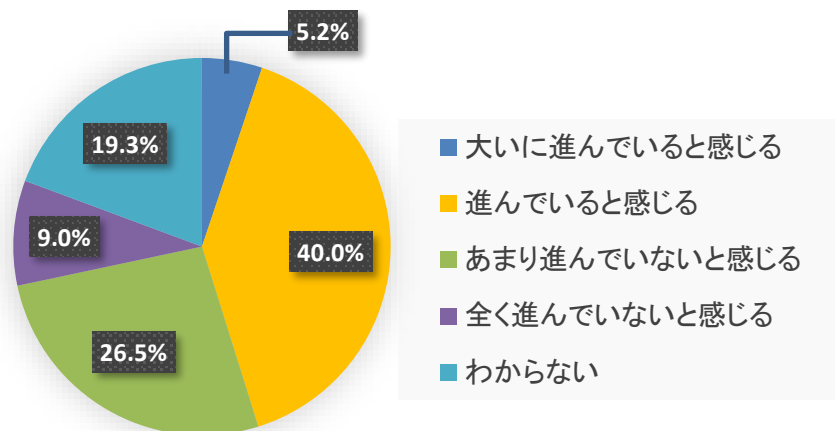
【調査結果】

「より一層、推進した方がよい」、「これまでと同様に推進すればよい」と答えた方が68.6%、「あまり推進しなくてよい」、「推進しなくてよい」と答えた方が15.7%となっている。概ね7割の方が推進した方がよいと答えており、昨年度と比較すると9.6ポイント増加している。

昨年度の回答結果	回答者全体 (500名)	
より一層、推進した方がよい	123	24.6%
これまでと同様に推進すればよい	172	34.4%
あまり推進しなくてよい	40	8.0%
推進しなくてよい	27	5.4%
わからない	138	27.6%
合計	500	100.0%

問5 「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現のための施策が進んでいると感じられますか。

令和6年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
大いに進んでいると感じる	31	5.2%
進んでいると感じる	240	40.0%
あまり進んでいないと感じる	159	26.5%
全く進んでいないと感じる	54	9.0%
わからない	116	19.3%
合計	600	100.0%

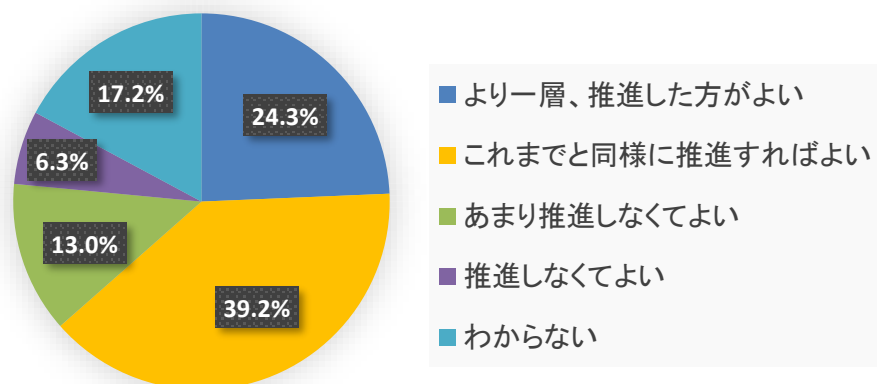


【調査結果】

「大いに進んでいると感じる」、「進んでいると感じる」と答えた方が45.2%、「あまり進んでいないと感じる」、「全く進んでいないと感じる」と答えた方が35.5%となっている。4割以上の方が進んでいると答えており、昨年度と比較すると14.0ポイント増加している。

問6 今後、「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現のための施策について、どのようにすればよいと思いますか。

令和6年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	146	24.3%
これまでと同様に推進すればよい	235	39.2%
あまり推進しなくてよい	78	13.0%
推進しなくてよい	38	6.3%
わからない	103	17.2%
合計	600	100.0%



【調査結果】

「より一層、推進した方がよい」、「これまでと同様に推進すればよい」と答えた方が63.5%、「あまり推進しなくてよい」、「推進しなくてよい」と答えた方が19.3%となっている。6割以上の方が推進した方がよいと答えており、昨年度と比較すると5.1ポイント増加している。

昨年度の回答結果	回答者全体 (600名)	
より一層、推進した方がよい	126	25.2%
これまでと同様に推進すればよい	166	33.2%
あまり推進しなくてよい	43	8.6%
推進しなくてよい	33	6.6%
わからない	132	26.4%
合計	500	100.0%